

第三内科学講座 三代教授

熊本俊秀

(平成15年6月―平成25年3月)

主要研究テーマ

●Distal Myopathy with Rimmed Vacuoles (DMRV) や Chloroquine Myopathy などの縁取り空胞ミオパチーにおいて、ubiquitin-proteasome system、および autophagy-lysosome system を検討することにより、これらの蛋白質分解経路が筋線維の崩壊に関与していることを解明した。

●筋サルコイドーシス患者の生検筋の検討から、腫瘍型筋サルコイドーシスでは、筋線維内に浸潤した肉芽腫性炎症細胞が肉芽腫を形成する過程で筋線維が崩壊し、高度の線維化が引き起こされることを明らかにし、病因・病態解明に貢献した。

